

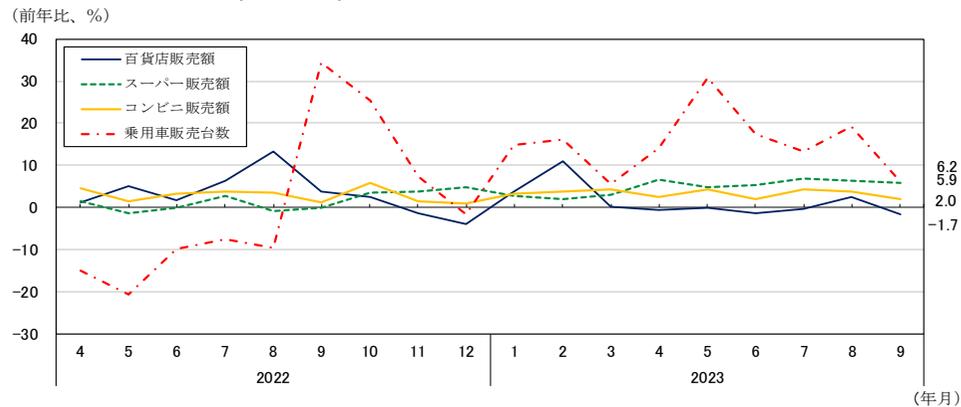
《最近の県内経済》 (2023年9月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。

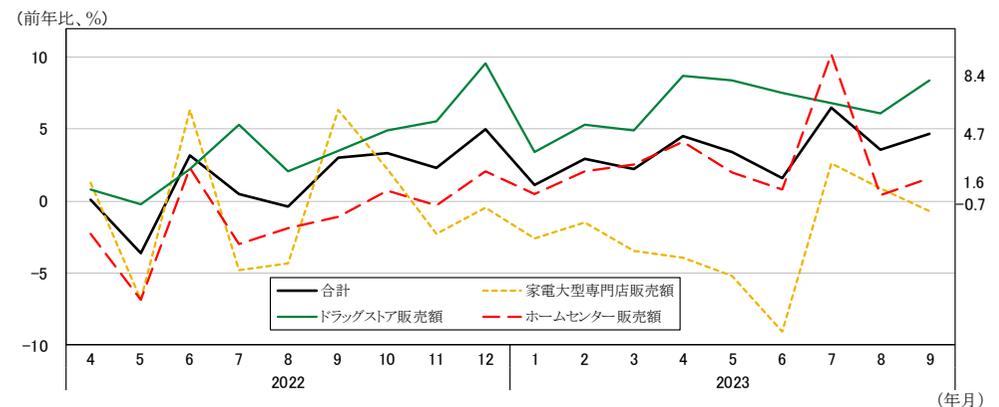
1 個人消費 ~持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

9月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が110億円で前年比1.7%減（2か月ぶりの減少）、スーパーは1,020億円で同5.9%増（12か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は561億円で同2.0%増と23か月連続の増加となった。販売価格上昇による影響は受けているものの、残暑により季節商材の販売が好調に推移した。

また、乗用車販売は、前年比6.2%増と9か月連続の増加となった。内訳をみると小型車が同比6.1%減と2か月ぶりの減少となったものの、普通車が同比15.3%増と9か月連続の増加、軽乗用車が同比4.0%増と5か月連続の増加となった。

9月の専門量販店販売額は、751億円で前年比4.7%増と13か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が169億円で同0.7%減（3か月ぶりの減少）となったものの、ドラッグストアが411億円で同8.4%増（16か月連続の増加）、ホームセンターが171億円で同1.6%増（10か月連続の増加）とそれぞれ増加となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、8月〈37.2〉、9月〈36.8〉、10月〈36.7〉と推移している。

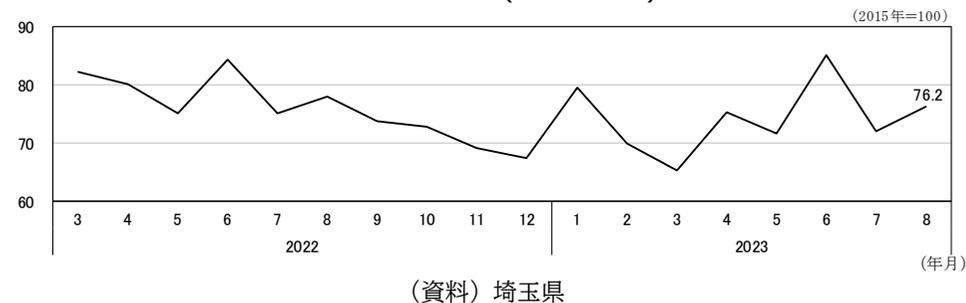
2 設備投資 ~持ち直している



9月の民間建築着工床面積（非居住用）は、152千㎡で前年比28.7%減と6か月連続の減少となった。（5か月後方移動平均でも前年比37.9%減）

用途別にみると、学校の校舎、病院・診療所は増加したものの、事務所、店舗、工場及び作業場、倉庫がいずれも減少した。

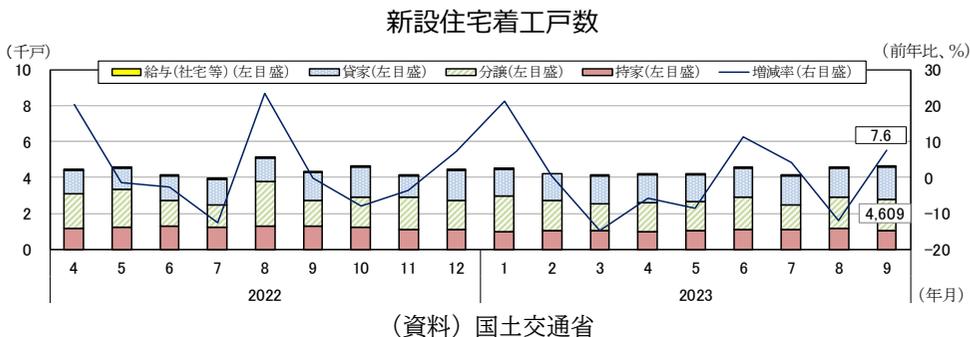
資本財出荷指数(季節調整済)



8月の資本財出荷指数（季節調整済）は76.2で、前月比5.7%増と2か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均では、前年比2.2%増）。

当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+8.8%）

3 住宅建設 ~一進一退



9月の新設住宅着工戸数は、4,609戸で前年比7.6%増と2か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均では0.2%減）。利用関係別にみると、持家（1,067戸）が同18.7%減、分譲戸建（1,263戸）が4.2%減となったものの、貸家（1,780戸）が同16.2%増、分譲マンション（476戸）が336.7%増といずれも増加した。

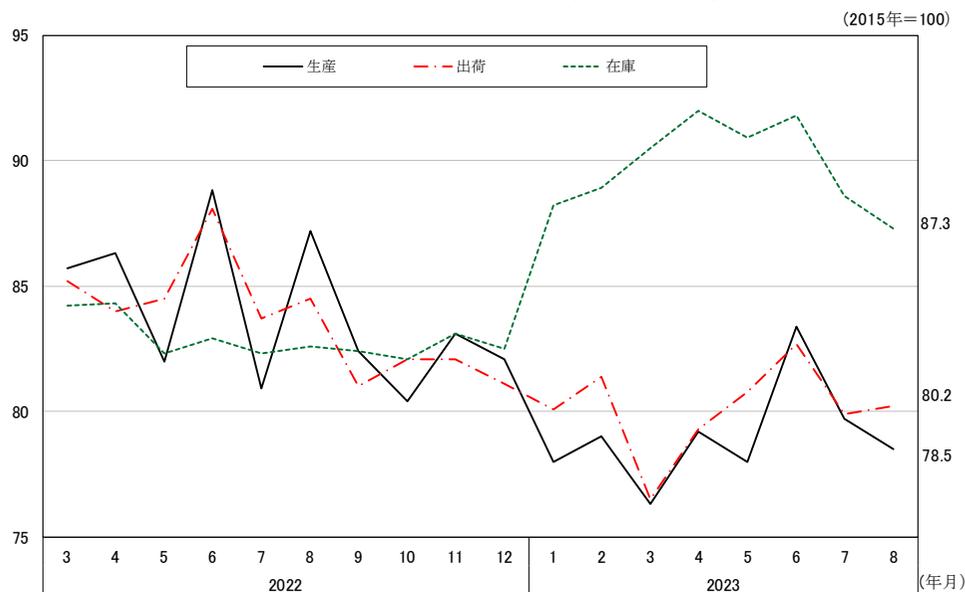
4 公共工事 ~横ばいとなっている



9月の公共工事請負額は424億円、前年比3.3%増となった（3か月連続の増加）。5か月後方移動平均では前年比13.1%減で推移。発注者別の前年比をみると、国、都道府県、市区町村は減少したものの、独立行政法人等、地方公社はいずれも増加した。

5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



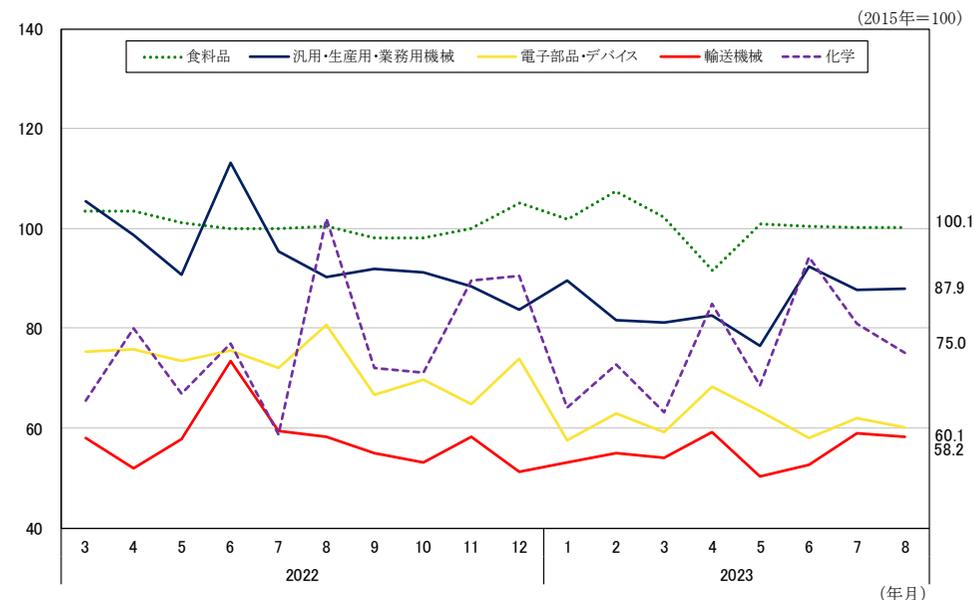
(資料) 埼玉県

8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、78.5で前月比1.5%低下した(2か月連続の低下)。情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)、鉄鋼(鋳鉄管、鉄系鍛工品)などが上昇したが、化学(医薬品)、電気機械(鉛蓄電池、電力変換装置)などが低下した。

出荷指数(同)は、80.2で同0.4%上昇(2か月ぶりの上昇)。輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、鉄鋼(鋼半製品、粗鋼)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、研削盤)、食料品(炭酸飲料、粉乳)などが上昇した。

在庫指数(同)は、87.3で同1.5%低下した(2か月連続の低下)。輸送機械(乗用車、完成自転車)、ゴム製品(工業用ゴム製品)などが上昇したが、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製フィルム)、電気機械(クッキングヒーター、鉛蓄電池)などが低下した。

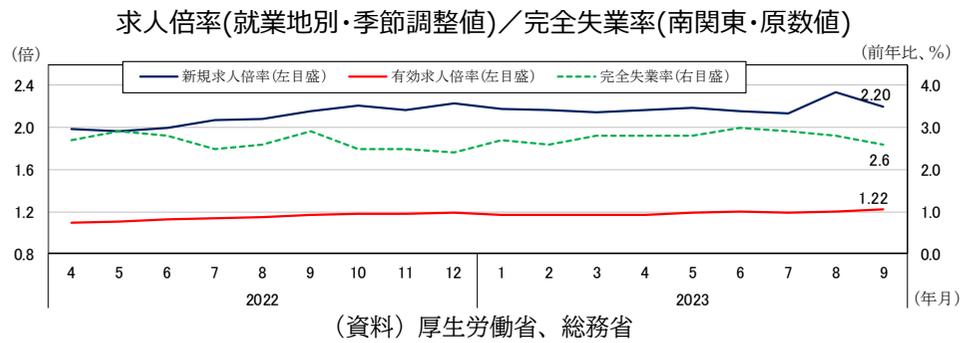
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.1で前月比0.2%低下、3か月連続の低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、87.9で同0.1%上昇、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、60.1で同3.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、58.2で同1.2%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、75.0で同7.3%低下し、2か月連続の低下となった。

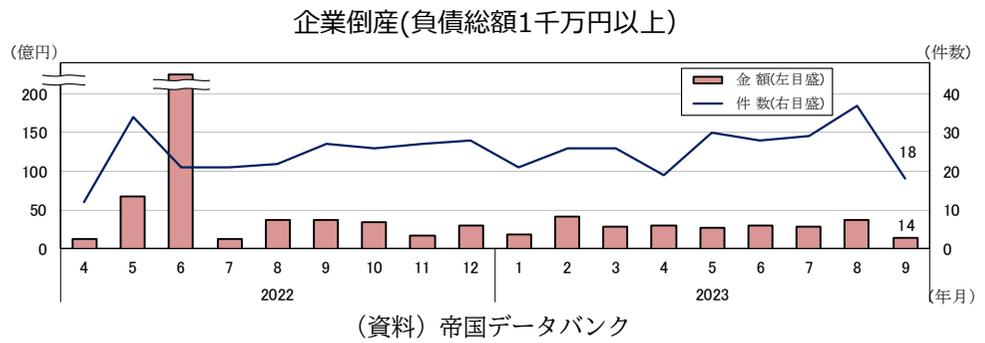
6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している



9月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.22倍で前月比0.02ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.20倍で前月比0.14ポイント低下した(2か月ぶりの低下)。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比0.3ポイント低下した(前年同月比4か月ぶりの低下)。

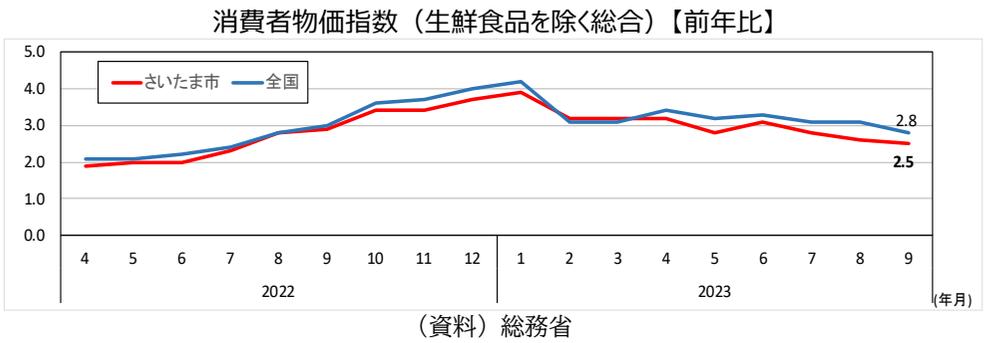
7 企業倒産 ～増加傾向にある



9月の企業倒産件数は18件で前年同月比9件の減少、負債総額は14億円で同23億円の減少となった。(5か月移動平均では、件数が前年比13.6ポイント増加)

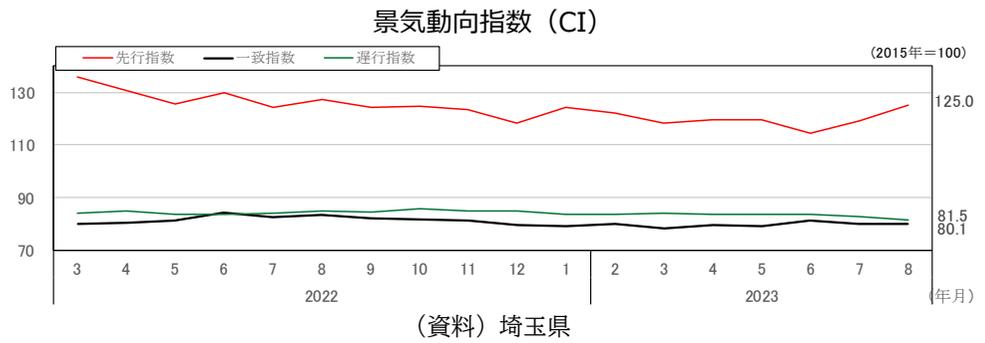
業種別にみると、建設業が最多で5件。次いで小売業が4件、製造業とサービス業がそれぞれ3件と続いている。主因別では、販売不振が17件となっている。

8 消費者物価 ～上昇率がやや鈍化している



9月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、105.0で前年同月比2.5%上昇した。食料(調理食品など)、ガソリン代などの自動車等関係費の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～改善を示している



- 8月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、80.1で前月比0.3ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、125.0で同6.0ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、81.5で同1.4ポイント下降し、2か月連続の下降となった。